

令和2年度 香川森林管理事務所の重点施策

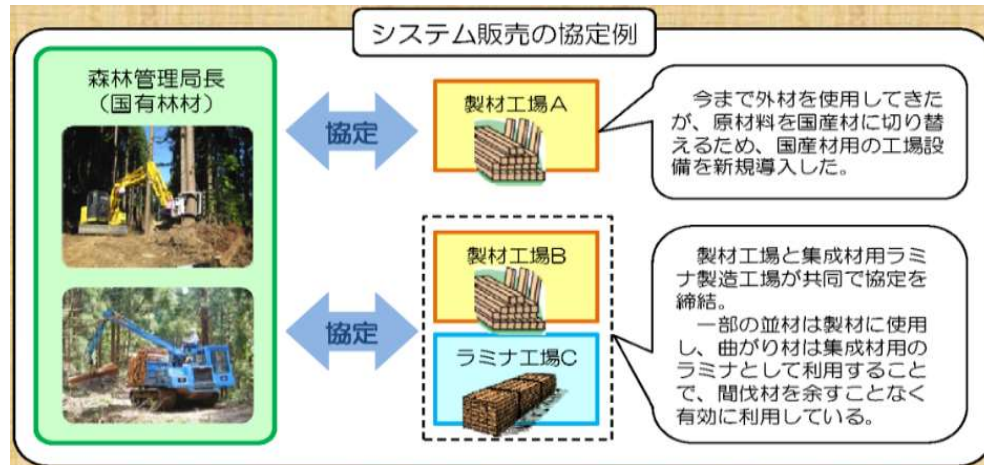
～ 香川の山を強くする施策 ～

令和 2 年 6 月
香川森林管理事務所

1. 国産材の安定供給に向けた取組

- 森林管理局と加工製材者の協定締結による国有林材(製品)の安定供給システム販売を推進 (平成30年度1.3千³m → 令和元年度3.5千³m → 令和2年度3.7千³m ※製品材積 香川森林管理事務所分)
- 同様に素材生産業者との協定締結による国有林材(立木)の安定供給システム販売を含む立木販売を拡充 (平成30年度3.7千³m → 令和元年度6.0千³m → 令和2年度7.5千³m ※立木材積 香川森林管理事務所分)

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組み



※システム販売の対象は、製品(丸太)と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等。

※立木のシステム販売は、複数年(3年以内)の協定、搬出期間は売買契約から原則3年以内。

■ 香川森林管理事務所の国有林材の素材供給量

(千³m)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	R2年度
製品販売	2.7	3.6	3.6	1.3	3.5	3.7
(システム販売)	2.3 (85%)	3.6 (100%)	3.6 (100%)	1.3 (100%)	3.5 (100%)	3.7 (100%)
立木販売	0.4	2.1	3.4	3.7	6.0	7.5

■ 製品のシステム販売

(東かがわ市 端山15 土場)



■ 立木のシステム販売

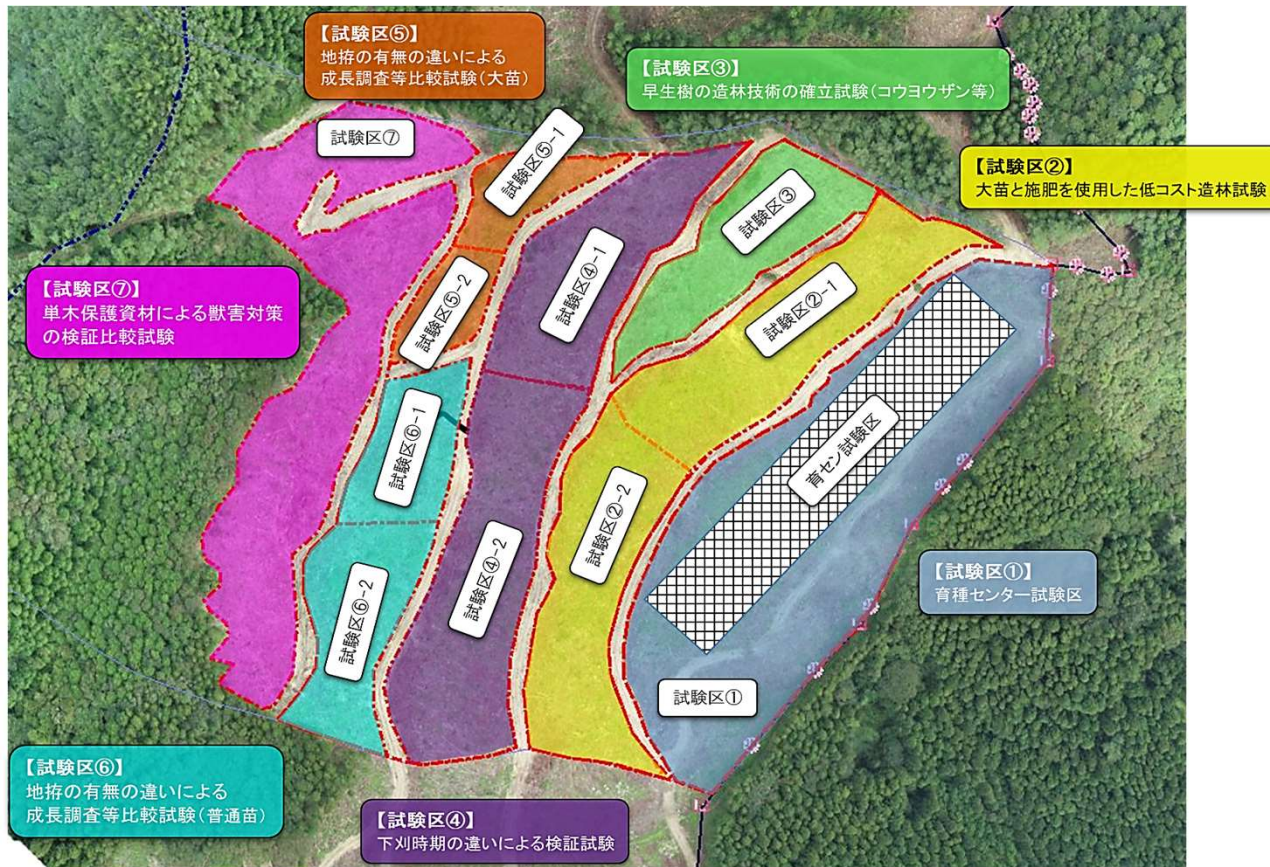
(末美谷山80)



2. 「集約化試験団地」の推進

- 香川森林管理事務所と森林技術支援センターでは、地拵の省略や冬下刈の導入、大苗と施肥を使用した低コスト造林やコウヨウザン・センダンなどの早生樹の造林及び獣害対策等に資する取組について1箇所のフィールドに集めた「集約化試験団地」を高松市塩江 鷹山33に設定し、県、森林総研、林木育種センター等と連携して実施。

■集約化試験団地のイメージ(高松市 鷹山33へ)



■試験区概要

試験区	概要
①	《第2世代精鋭樹の特性調査等》 育種センター実施(一部で香川県森林技術センターがエリートツリ一植栽)
②	《大苗と施肥を使用した低コスト造林試験》 大苗と普通苗を植栽し、育苗時、植栽時に施肥を実施、成長調査を行う。
③	《早生樹の造林技術の確立試験》 コウヨウザン、センダン、チャンチンモドキの植栽し、早生樹の施業体系の確立
④	《下刈時期の違いによる検証試験》 夏下刈と冬下刈による成長及び下刈作業工程の比較検証
⑤⑥	《地拵省略における苗木(大苗・普通苗)の成長調査等比較試験》 枝条の多い箇所と少ない箇所について大苗・普通苗それぞれの成長調査を行う。
⑦	《単木保護資材による獣害対策の検証試験》 5種類のタイプの違うニホンジカ防護用単木保護資材の防護効果及び施工工程の比較検証

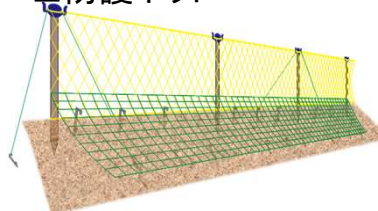
■コウヨウザン



■大苗(スギ)



■防護ネット



■各種単木保護資材



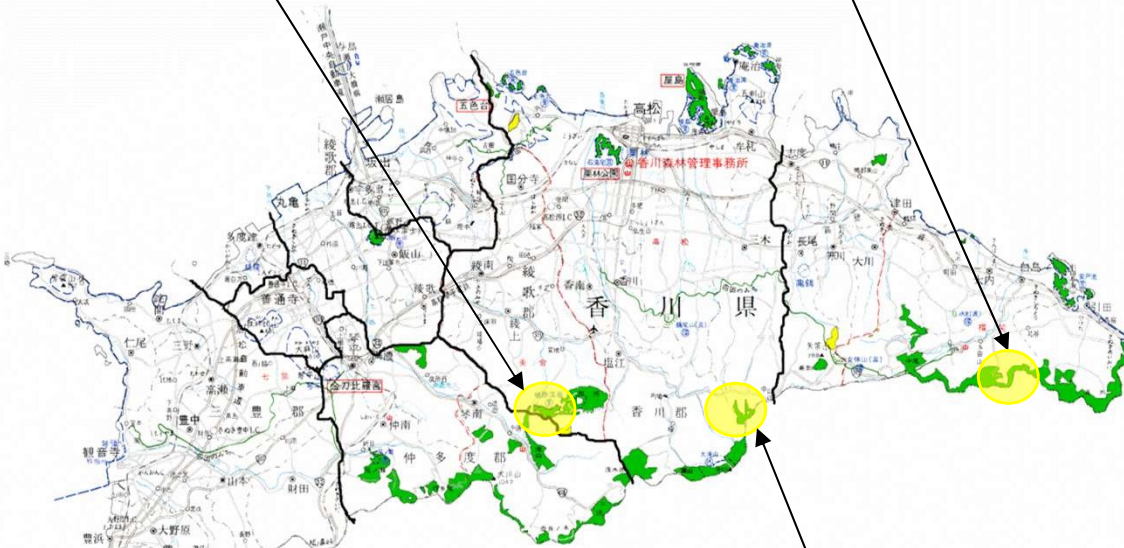
3. 地域の安心・安全を守る山地防災力の強化

- 地域住民の暮らしに重大な影響を及ぼす道路(県道)や送配電線等の重要インフラを保全対象とした復旧・予防対策を実施。(4箇所1.3億円(まんのう町滝山、観音寺市萩ノ尾、東かがわ市中尾、高松市塩江町大相))
- 災害時にはドローンによる調査を速やかに実施。

令和2年度 香川県内の治山事業の実施予定地区

治山事業: 滝山(まんのう町)

治山事業: 中尾(東かがわ市)



治山事業: 大相(高松市塩江町)

治山事業: 萩ノ尾(観音寺市大野原町)

治山・溪間工

溪間工事は、土石流の発生時には流出を抑止します。また、荒廃した溪流の勾配を緩和するなどして浸食を防止し、崩壊の発生を防ぎます。



緩和された溪床勾配 (まんのう町 本村国有林)



荒廃した溪流に設置された床固工(まんのう町柞ノ古林国有林)

4. 無線とモバイル通信を活用したシカわな遠隔捕獲通知システムの実証

- 香川森林管理事務所は、わなの巡回作業の軽減を図るため、平成31年度に民間会社((株)アイエスイー(三重県鈴鹿市))が開発した無線とモバイル通信を活用した「長距離無線式捕獲パトロールシステム」を導入して、東かがわ市の中尾国有林内に小型囲いわな7基を設置し実証を実施中。(これまで誤作動なし。)
- 林内に基地局を設置し、その約10km圏内の山間部に設置した多数のわな(子局)の作動状況が無線(LPWA)とモバイル通信を介して瞬時に捕獲者の携帯端末に通知される。運営経費がモバイル通信費(約2千円/月)程度しかかからず、わな作動状況が瞬時に通知されるため迅速性を要するジビエに適している。

■ 長距離無線式捕獲パトロールシステム

電波がとにかくよく飛ぶ!

捕獲したらメールでお知らせ!

ワナの見廻りが楽になる!

事前に捕獲がわかるから、止め刺しの準備が可能!

通信距離 **10 km以上!**

※環境に依存しますが、中山間部に適した電波を使用しております。 ※免許は不要です



(出展) (株)アイエスイー資料

■ 基地局(通信距離10km以上)



■ 小型囲いわなに設置された(子局)



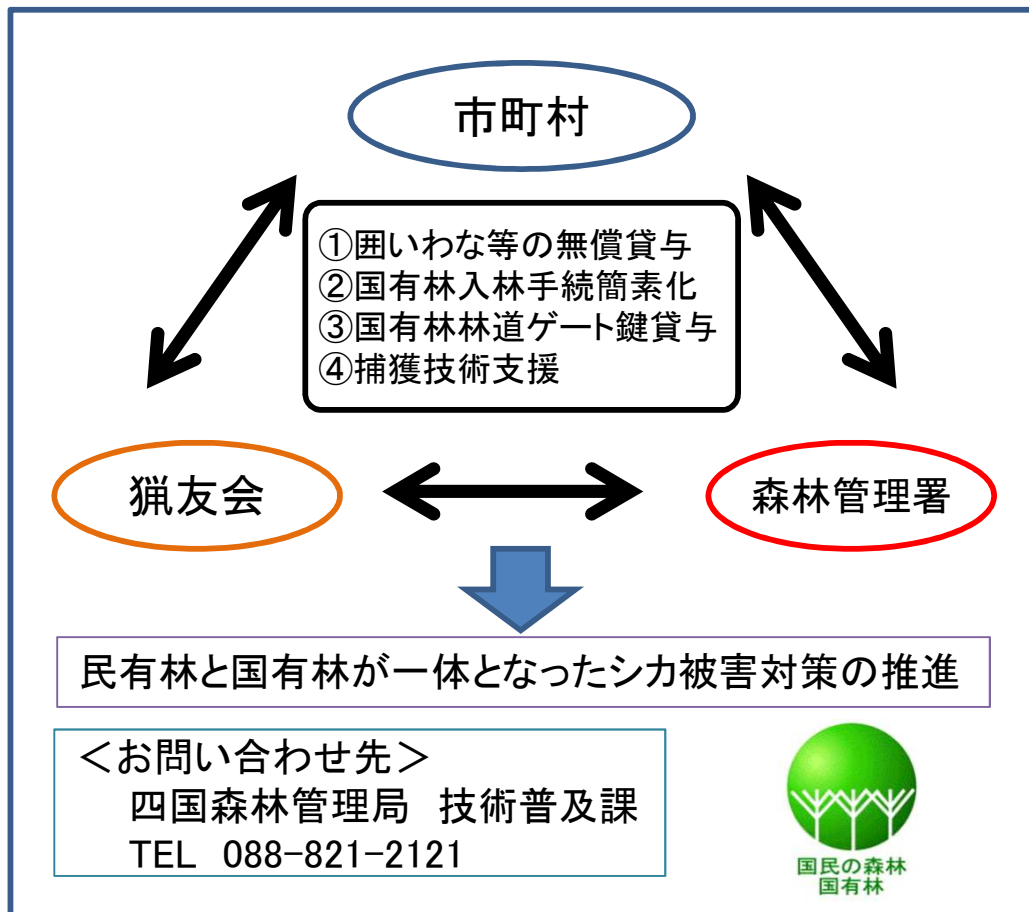
■ 小型囲いわなと子局



5. 香川県森林組合連合会との協定締結によるシカ被害対策の推進

- 香川県では県東部の徳島県境付近でニホンジガの目撃や樹木の皮剥ぎが発生するようになっている。
- このため、平成28年12月、香川森林管理事務所は、香川県森林組合連合会とシカ被害対策連携協定を締結し、四国森林管理局が開発した小型囲いわな「こじゃんと1号」等の無償貸与、国有林の入林手続き簡素化、捕獲技術支援等を実施。
- 平成29年7月に東かがわ市の中尾国有林内の林道沿いに小型囲いわな5基とセンサーカメラを設置し、シカの出没状況を定点監視。
- **令和2年4月現在でシカ70頭を捕獲。**

■ シカ被害対策連携協定



■ シカ被害対策連携協定のメリット

- ①シカの囲いわな等を無償で貸与します
- ②国有林の入林手続きを簡素化します(協定の始期に入林証を交付)
- ③車両の乗り入れによる捕獲推進のための国有林内の林道ゲートの鍵を貸与します
- ④森林管理署が捕獲技術、わな設置等の技術支援を行います

■ 軽トラにも掲載可能な小型
囲いわな「こじゃんと1号」

■ 捕獲したオスジカ



6. 生長が早い早生樹センダンの導入による低コスト林業の実証

- センダンとは、沖縄から四国の暖地に自生する落葉樹で、成長が早く約20～30年で短期収穫が期待される早生樹の一つ。国産材需要が高まる中で早期生長、下刈り省力化、萌芽更新等による保育・造林コストの削減や短伐期施業による早期の投資回収が期待。
- 香川森林管理事務所は、平成27年から香川県森林センターと共同でセンダンの種子採取と苗木の育成を行い、平成29年に観音寺市の国有林内(末美谷山)の試験地(約400m²)にセンダンのコンテナ苗(32本)を植栽し、成長特性等を調査。
- **植栽後3年を経過し、肥料を施したセンダンは樹高2m、根元径3cmに達している。**

■ センダンのコンテナ苗



■ センダンの試験地(観音寺市末美谷山)



■ センダンの成長特性調査の結果

	根元径	樹高
H29.5.18 (植栽時)	1.6mm	22.0cm
	↓	↓
H30.12.24 (約1年7ヶ月後)	22.0mm	133.4cm
成長率	1,375%	606%
	↓	↓
R2.5.15 (約2年後)	23.4mm	158.3cm
成長率	1,463%	720%

センダンは、植栽してから短期間で著しい成長が見られている。特に肥料を施したものは平均径3.1cm、平均高210.7cmにも達している。

今後さらに調査を重ね、データを蓄積。

7. 飯野山<讃岐富士>の市民参加による登山道整備の推進 ～ 一日一石運動 ～

- 飯野山<讃岐富士>は、香川県丸亀市と坂出市の境に位置する円錐形の美しい里山(標高422m)。新日本百名山の一つで、山頂周辺は瀬戸内海国立公園、飯野山風景林に指定され、健康づくりも兼ねて多くの登山者が訪れている。
- この美しい里山を次世代に残すため、平成29年4月22日、里山まつり山開き式に併せて丸亀市、坂出市、登山者及び香川森林管理事務所が連携し、登山口に用意した修繕用の石と土を登山者が持ち運んで登山道を整備する「一日一石運動」を開始。
- **これまでに、2トントラック約6台分の土石が、登山者の手で持ち運ばれ登山道を補修・整備。**
- 飯野山の里山まつり山開き式典において、運動の成果と登山者へのアンケート結果を報告。これらを踏まえ、当所長から感謝状を贈呈、「土石の流出防止のためのヤシ繊維製の土嚢」を設置。

飯野山<讃岐富士>

- ・標高 422m
- ・所在地 香川県丸亀市・坂出市
- ・4月22日の「讃岐富士の日」に里山まつり山開き式を開催



年間4万7千人もの登山者
(健康づくり等のため毎日登る人も)

飯野山の「一日一石運動」

